

# 『プリペイドカードについて考えよう』

～現代社会に適切に対応し、たくましく生きる児童の育成～

## 金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、東京都目黒区立駒場小学校教諭・横尾昌子先生が小学5年生の家庭科で取り組んだ、プリペイドカードを題材とした金融教育の実践をご紹介します。

### 都会の小学生の実態に即した金融教育

目黒区立駒場小学校は、東京大学教養学部隣接の小学校です。京王井の頭線「駒場東大前駅」にほど近く、閑静な住宅街にある同校では、国立中学校や私立中学校に進学する児童も多くいます。塾通いのため、電車で渋谷、下北沢などの繁華街にまで足を延ばす児童も4年生くらいから増えていきます。

同校は2014年に東京都金融広報委員会より「金銭教育研究校」の委嘱を受けました。その中心となって実践研究に取り組んだのが横尾先生です。

「子どもたちの様子から、塾や習い事に通う交通費には交通系のプリペイドカードを利用していることは分

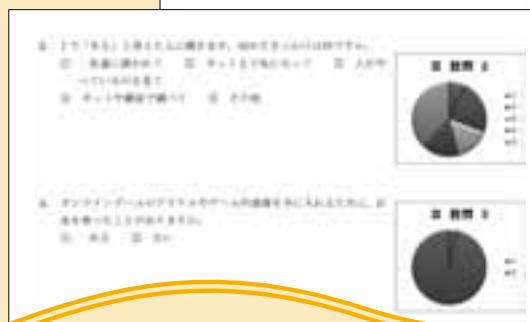
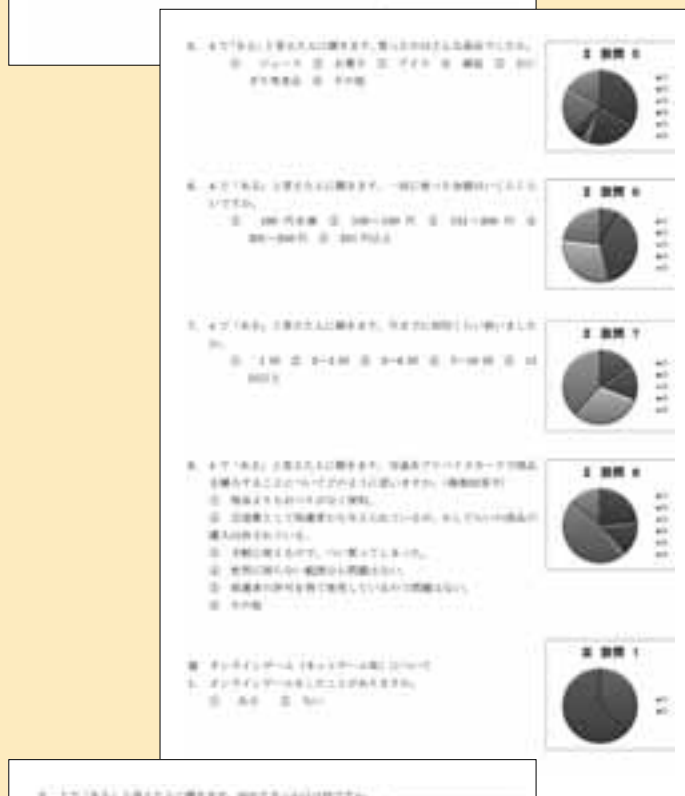


かっていました。また、最近は宅配サービスやネットショッピングなどを利用する保護者も多いためか、店頭での買物の経験が少なく、あまりお金に触れていない子が見えて増えていると実感していました。教

職員の間でも、子どもたちにとってお金の流れが見えにくく、『お金のありがたみが分かりづらい環境にあるのではないか』、『プリペイドカードはお金だと理解していないのではないか』とたびたび話題になっていま

東京都  
目黒区立駒場小学校  
横尾昌子教諭

【資料1】消費生活アンケート



子どもたちに浸透している  
プリペイドカード

横尾先生は授業計画を作る前に、子どもたちの実態を把握するために「消費生活アンケート」(資料1)を実施しました。そこで見えてきたの

は、「交通系プリペイドカードは5年生ですではほぼ全員が所持している」、「塾通いに伴い、所持することになった児童が多い」、「保護者が交通費支払いのために持たせている」、「交通系プリペイドカードを交通費の支払いではなく、商品購入に利用している児童が半数程度いる」など、交通系プリペイドカードが子どもたちの生活に浸透しているという実態でした。

アンケートで「子どもたちには思っていた以上にプリペイドカードに関する知識があった」ことを踏まえ、横尾先生は2時間授業を組み立

てました(資料2)。同校は国語科で『情報の収集と取捨選択』の機会を多く設け、身近な物事から必要な情報を取り出し、過不足なくまとめる授業に力を入れて

そこで横尾先生は、子どもたちの旺盛な好奇心に期待し、「子ども同士で自由に話し合い、学び合うスタイルの授業を計画しました。答えが一つだけではないオープンエンドの問

います。このため、話し合いを通じて互いに知識や意見を出し合うことで自分の考えを広げたり深めたりする学習を楽しめる児童が多いのだと言います。

【資料2】指導計画

	ねらい	主な学習活動	教材 資料 評価
つかむ 調べる 1時間目	1. プリペイドカードにはどんなものがあるか調べる 2. プリペイドカードの長所・短所について考える	3. プリペイドカードの概略を知る 4. 様々なプリペイドカードを挙げさせ、共通する長所・短所について考える	5. 交通系プリペイドカードの実物 6. 進んで調べ、長所や短所を考えている
まとめる 広げる 2時間目	7. 事例を挙げながらプリペイドカードを利用する上で注意すべき点について考える 8. インターネット上でのプリペイドカード使用について注意すべき点を考える	9. 具体例を挙げ、何が問題なのか、どうすれば解決できるか、考えさせる 10. 電子情報のやり取りによる代金の受払にどのような課題があるか、考える	11. 具体的な課題事例 12. 課題を理解し、具体的な解決策を考えることができる

興味津々  
豊富な知識で意見交換

1時間目の授業はまず、プリペイドカードについて、児童がどれだけ知識を持って利用しているのかを、ワークシートに沿って確認してい

題に対して、いろいろな解決方法を楽しみながら考えてもらえるだろうと想定しました」と説明します。

ました。

先生よりも詳しい知識を持つ児童もいれば、「交通系プリペイドカードで電車に乗るだけでなく買物もできるの?」という子まで、知識レベルはさまざまでした。

「ただ、短所・長所を出し合うなかで、手軽さ、便利さ、前払い制なので使い過ぎる心配が要らないといったメリットを挙げる反面、『お金じゃなく見えるけどお金と同じ』、

【資料3】プリペイドカードの長所・短所

長 所	短 所
<ul style="list-style-type: none"> <li>●支払いが簡単で早い</li> <li>●おつりなし・手間が省ける</li> <li>●手軽・楽・便利</li> <li>●チャージすれば何度も使える</li> <li>●財布に入れるお金が少なくて済む</li> <li>●財布に比べ軽い</li> <li>●対応店舗が増えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●なくしたら損</li> <li>●使えない店もある</li> <li>●手軽なので使いすぎる</li> <li>●残額が一目でわからない</li> <li>●お金が無くなる感覚が薄い(使った感がない)</li> <li>●残額を確かめる必要がある</li> <li>●支払確認がむずかしい</li> <li>●スキミングに注意</li> </ul>

【資料4】プリペイドカードをめぐる詐欺事件

- アップル社のサイトで音楽を購入できる「iTunes (アイチューンズ)」のプリペイドカードの代理購入を依頼され、識別番号をだまし取られる被害が確認された。
- 東京都渋谷区のAさんは、ブラジルに住む友人から依頼されたと思い込み、1日で計4回80万円分のプリペイドカードをだまし取られた。
- 何者かがIDやパスワードを使ってAさんの友人になりすまし、Aさんに「コンビニでプリペイドカードを買ってほしい」とメッセージを送信。Aさんにプリペイドカードの使用に必要な識別番号を送らせ、だまし取る手口。

(各新聞記事をもとに作成)

『先払いだから使えるだけで、大事に使う必要がある』など、大人の考えと同じような意見がたくさん出て驚きました」と横尾先生は振り返ります(資料3)。

2時間目の授業は、新聞でも報道されたプリペイドカードをめぐる詐欺事件の内容(資料4)を教材に、さらに児童に考えさせる学習を深めていきました。

事案を読み、児童が気になるポイ



ントに赤線を引いて課題を話し合います。

「こんなに遠く（ブラジル）にいる友達には頼まない」、「こんなに高額（80万円）な金額なのはおかしい」などと、子どもなりに多くの注意点をを見つけ、詐欺被害に遭った原因について議論。友だちの意見にも触発され、活発な意見交換が行われたと言います。

授業の終盤になると、ニュースでもよく耳にする『振り込め詐欺』の被害なども手がかりにして「まずはメールや電話で本人かどうか確かめる」、「そんな大金を貸すこと自体がありえないので断る」、「大人（家族）に相談する」、「うまい話には乗らない。疑ってかかる」といった「対策」も浮かび上がってきました。

### 知識を実践力につなげる 指導が大切

今回の調査では、保護者があらかじめ使途を定め、次回チャージの時期をきちんと管理しているため、子ども同士でおごり・おごられるような習慣や、無駄遣いをしている子はほとんどいなかったようですが、2

時間の授業を通じて子どもたちは、『プリペイドカードを使うときに気をつけたいこと』として、「プリペイドカードはお金と同じ。無駄遣いしない」、「どんどん使ってしまうと感覚が麻痺するので、記録を残す。使っている感覚を大事にする」など、自分の言葉で意見をまとめることができたと言います。

「2時間の授業を終えて、知識だけが先にある子どもも多く、実際の場面ではどうしたらいいかわからない。頭でっかちな印象も受けました。知識と経験のバランスの差を埋め、現実的な危機感を持ってもらえる指導は大切だと感じました」（横尾先生）。

### 環境の変化に沿った 金融教育の必要性

今後は、さまざまなインターネットサービスや携帯端末などの急速な普及に伴い、キャッシュレス化はますます発展すると考えられます。

「どんどん新しいサービスや機器が生まれるなか、収支の実感が伴いにくい『目に見えないお金』をどう使いこなしていくか、大人でも難し

い昨今、子どもたちを取り巻く身近なところに、さまざまなリスクが潜んでいるのだと感じました。想像していた以上に環境は変化しており、子どもたちと一緒に大人たちも『自分を守るために必要な情報』として課題を持って取り組む必要があります」と横尾先生。

この2時間の授業は、横尾先生にとって初めての金融教育の実践でしたが、金融教育は教師にとって児童の生活、家庭、地域性などの背景を理解する機会となると同時に、児童の興味や関心も高いと実感したそうです。今回の経験は非常に示唆に富むものであり、今後も金融教育を実践していきたいと話しています。



## 金融教育の現場レポート

# 『プリペイドカードについて考えよう』 ～現代社会に適切に対応し、たくましく生きる児童の育成～

東京都  
目黒区立駒場小学校 横尾昌子教諭